



広島女学院に繋がるもの

広島女学院中学校高等学校校長 渡辺 信一

2018年の夏は、今まで経験したことのないものでした。7月の豪雨、それに続く猛暑と自然の力に圧倒されました。広島女学院大学では、クックホール2階に土砂崩れが流入するなど大きな被害がありました。また、学生・生徒・教職員の中には、家屋の半壊・床上または床下浸水の被害に遭われた方もありました。多くの方が、通学通勤に困難があり、現在もその状況が続いています。改めて、豪雨災害で痛みを持たれた方々にお見舞い申し上げます。その後も続く台風などの影響で、天候に心が騒ぐ毎日ですが、与えられる一日を当たり前と思わず、感謝をもって過ごさせていきたいと思ひます。

8月は、広島女学院にとって折りのときです。被爆後73年の時が過ぎましたが、その経験は何一つ色あせることなく、却ってその意味を新しくしています。8月6日の平和記念礼拝の後に、被爆時高等女学校一年生であった方にお会いしました。在校生として扱われているかを気にしながらも、73年間、この学校に足を踏み入れることができなかったことをお聞きしました。その方のお母さまが、「娘に女学院の教育を受けさせたい」と抱いた思いを、時の隔たりなどなくそのまま深く感じさせていただきました。広島女学院に繋がるものの大切さを、私たちが次の世代へとさらに繋げていく使命を感じます。

さて2018年は、広島女学院大学の学部学科が改組されました。その新しい大学に、少子化の厳しい環境の中にもかかわらず、入学定員を大きく上回る392名の入学生を迎えました。幼稚園、中等高等学校ともども、定員を満たす園児・生徒・学生が集められたことに、大きな喜びと感謝を覚えます。今年度、中等高等学校では、改革に取り組んでいます。「学ぶ」「認める」「繋がる」という3つを大切にします。主体的に学び、自己肯定感を高め、自分も他者も認める感性を持ち、多様な価値観が存在し得る未来へと社会を繋げる力を持つ生徒を育てます。自分の命をキラキラと輝かせる生徒になってほしいと祈ります。

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。」テサロニケの信徒への手紙 I 5:16-18
神様は、いつも・絶えず・どんなことにも、私たちと共にいてくださいます。そして、たくさん苦しみを負ってくださり、満ちあふれる慰めを与えてくださります。そのことを通して、私たちも、苦しむ隣りに人に慰めを与えることができるのです。広島女学院での神様の精錬を通して、本当に大切なものを一つでよいかから誰かに伝えていける、そのようなものに造り変えていただけることを祈ります。



8月7日ピースフォーラム。ハワイからプナホウ高校、フアリントン高校、日本の高校が本校を含め8校から総勢119名の参加

大学

University

感謝しつつ更なる未来へ

2018年度の大学改革により、恒常的な定員割れを克服して順調に歩み出した矢先に、西日本豪雨による被害をもろに受けました。本学の校庭内の川の氾濫、校舎への土砂の流入など想像以上の被害に見舞われました。何よりも人的被害がなかったことが感謝です。キリスト教学校教育同盟校をはじめ、会社関係、同窓会、個人の方々から心温まるご支援を戴き心から感謝いたします。

今年度のハイライトは、11月23日(祝日)のサーロー節子さんによる「キリスト教主義女子教育と平和」私が受け取ったもの、あなたに託したいもの」と題しての特別講演会です。同年配の私たち、サーローさんは被爆者として、私は爆撃による大怪我を負いながら生き延びた者として、サーローさんの言葉「あきらめるな、光に向かつて這って行け」は共通のイェールです。私は本学のキリスト教主義女子教育があつてこそ彼女の力強い決意があると思つています。できる限り沢山の学外の方々にキャンパスにいらしていただき、本学の教育理念を肌で感じていただきたいと願っています。

就任以来女子大学だからこそ可能なプログラムを模索し、大学全体の再改革を試み今年度の入試に漕ぎつけ、入学定員を充たすまでに回復させることが出来たことは感謝です。

女子大学が次々にクローズされて行く中で、最後の1校になつても日本における女子教育のために貢献できる大学であり続けたいと願っています。



(学長 湊品子)

一人ひとりの成長を支援する

徹底した少人数教育



国際英語学科が2018年4月に新しくスタートしました。GSEコースと英語文化コースの2つのコースがあります。たくさんある英語スキル科目、ネイティブ教員による授業のほか、英米を中心とした豊富な海外研修制度を取り入れたカリキュラムが特長です。また、自分の目指すキャリアルートを選択し、将来の職業に関する理解を深めながら英語を学ぶCSP(Career Study Program)のように他大学には例を見ない取り組みも行っています。さらに徹底した少人数教育により、一人ひとりの成長を支援します。ここではその代表的な取り組みである1×1 guidanceをご紹介します。

1×1 guidanceとは、一年生全員に対して学科の専任教員の方針のもと、学生個人のニーズに合わせた週一回の英語の個別指導です。例えばある学生はスピーキング力を上げるため、学生は自分で話したいトピックを決め、会話の練習を行っています。教員は発音の癖を指摘したり、より自然で伝わりやすい表現になるよう指導します。さらに、質問と応答を通して会話の内容も広げていくようにしています。

国際英語学科では一人ひとりの学生に合わせ成長を支援する教育をこれからも徹底していきたいと考えています。

(国際英語学科長 John D. Herbert)

〈発信力〉を磨く教育を

— 日本文化学科の成果と展望 —

新学科がスタートし順調に前期が終了しました。国際社会の中で日本文化を発信できる人材を育てたいという強い思いをもって始動したその願いの通り、今学期、学生の皆さんには実に多くのプレゼンテーションに挑戦してもらいました。

「初年次セミナー」「キャリアアプランニング」「基礎英語」などの科目において、それぞれ異なるテーマ、条件において、繰り返しプレゼンを行ないました。特に「初年次セミナー」の学期末には「未来の暮らし方」というテーマでのグループ発表に取り組みました。少子化問題、子育てと働き方、AIと社会、長時間労働など多彩な内容が挙げられ、教室が熱気で包まれていく中、どのグループも現代社会と結びつけた上で、未来を射程に問題意識を深めることができました。

後期には「キャリア・スタディ・プログラム」の授業において、時事問題を素材にプレゼンを行ないました。〈発信力〉を磨いていくためにはどのような準備や工夫が必要か、常に学生たちに問いかけながら、更には上級生と共に学びながら、一人一人が日本文化の発信者として成長してくれることを願っています。

(日本文化学科長 足立直子)



女子大生の生活を

取り巻くデザイン

生活デザイン学科は、今年度、定員65名を超える91名での船出となりました。前身の生活デザイン・建築学科では定員割れが続き、地域デザイン領域が加わる新学科



では、明快な広報が求められていました。

そこで大学案内では、高校生である自分(女子)を中心として生活を捉え、最も身近な被服・ファッションデザイン、その外の空間のインテリア・住居・建築デザイン、更にその外側に位置し、地域や世界を見据える地域デザイン。またそのデザインが横断的に学べるのは生活プロデュース領域を図式化しました。地域創生が求められる現代社会で、まさにその分野である地域デザインの学びの内容は、独自ホームページを開設し紹介しています。また、学科パンフレット「学びとお仕事」では、卒業生の就職先紹介を中心に、取得できる9つの国家資格と共に4つのデザインの将来像を見える化しました。

現在、1年生は、2年生以上が中心となる地域連携等の活動に参加し、特に学院内のデザイン活動(宗教学行事のチラシ・エプロンデザイン、同窓会グッズデザイン等)や安芸太田町花田植え行事保存活動等に積極的に参加、活動を始めました。この様に女子大生の生活を取り巻くデザインという視点で生活デザイン学科を確立したいと考えています。

一方、様々な個性が溢み出る教員は、少人数制の良さを活かした柔軟な対応で、学生の個性を伸ばすことに切磋琢磨しています。この様な環境の中で、今後の学生の成長を期待しています。

(生活デザイン学科長 細田みぎわ)

管理栄養学科が積み重ねてきた

堅実な実績と教育

管理栄養学科では管理栄養士国家試験合格率5年連続97%以上という長年積み重ねてきた堅実な実績があります。昨年の合格率は98.2%でした。国家試験合格率は学力の程度を数字で現せ、大学の実力の指標となります。それ以上に広島女学院大学管理栄養学科の本質は、キリスト教精神に支えられた教育、特に隣人愛にあります。管理栄養学科では学生に「食」を大切に、「食」を通してあらゆる人に寄り添い、支援することの大切さを教育しています。国家試験の合格はそのスタートラインに立つにすぎないのです。卒業し、社会に出て初めて教育の真価が問われます。現実と理想の間で挫折しながらも、何度も立ち上がり、前向きに歩む人格が育っていることを信じています。

もう一つの学科の特徴に、海外フィールドワークがあります。2013年度からハワイで研修としており、この研修が実現できた背景には、当時、ハワイのハリス合同メソジスト教会で牧師をされていた卒業生の三宅ストナー先生のご支援がありました。三宅先生はハワイで多くの人びとをご紹介くださり、研修が実現し、学生の大きな成長につながっています。伝統ある広島女学院だからできたことです。

(管理栄養学科長 石長孝二郎)



学科内サークル

「子どもチャレンジラボ」での活躍

前期、児童教育学科1年生82名がさまざまなボランティア活動に参加し、延べ人数では140名になっています。このように積極的に意欲的な1年生の入学により、今まで以上に学科の諸活動が活発になっていきます。特に、ボランティアが主となる学科内のサークル(顧問は学科全教員)である「子どもチャレンジラボ」での活動が盛んになっています。学生は、「子どもチャレンジラボ」の活動に参加することにより、地域や学外の多くの方々と関わっていきます。「学習カウンスリング」では近隣の小学生と保護者、「パパの子育て支援広場」では乳幼児と保護者、「牛田小学校で遊ぼう」では小学生と地域の方々等です。学生にとっては、大学の講義では得られない実り豊かな体験をすることで、他者を支援する力、コミュニケーション能力、課題発見・解決能力の涵養に繋がっています。



学科としては、今まで同様、個々の学生の成長をサポートし、「子ども」に寄り添い心豊かな関係を築く「教育者の育成」に邁進する所存です。なお、現在1年生28名が小学校教員希望であり、「小学校教育実践研究会」所属の先輩や、幼稚園教諭・保育士同様に合格率100%を目指します。

(児童教育学科長 戸田浩暢)

2018年度春季宗教強調週間

2018年5月21日(月)～25日(金)

「一人の命を救うことは世界を救うこと」

今季宗教強調週間は、21日(月)「特別チャペル」での、フイリピン・ワークキャンプ参加者からの優れた発表で幕を開け、22日(火)・23日(水)には、福山市にあるホロコースト記念館館長の大家信先生を特別講師にお迎えした。

青年期にヨーロッパを旅する中で、アンネ・フランクの父であるオットー・フランク氏に出会い、人生の転機となる経験をなされたという先生は、一つひとつの出会いに全身全霊を注ぐことを学ばれ、そのことを今回、身をもって私たちに示してくださいました。それは、一人ひとりの名前が消し去られ、番号で呼ばれるというホロコースト(ユダヤ人排斥・絶滅政策)の、まさに対極にある姿勢である。そして、先生が今回教えてくださった「二人の命を救うことは世界を救うこと」という、ユダヤの格言にも通ずる姿勢である。

二日間のご講演を通して届けてくださった、平和への熱い思いに触発され、講師を囲む懇談会には大勢の学生と教職員が詰めかけた。和やかな雰囲気の中、「平和教育とは」「真の個性とは」などの話題について、真摯なやり取りがなされた。

また、同時企画として図書館フリースペースではホロコースト記念館からお借りした「暗闇に光を灯した人・杉原千畝展」のパネル展示が行われ、さらに、24日(木)の木曜日チャペルでは、3月にクワイヤ・キャラバンを兼ねて行われたピーススタディツアーでホロコースト記念館を訪れた学生たちからの報告がなされ、多角的にホロコーストのことを学ぶ一週間となった。

「真の教育とは、すべてを忘れたときに、なお残っているもの」という大塚先生のお言葉を胸に、今後も学生たちとともに、真の学びの場を作り上げていきたいと願う。

(大学宗教委員長 澤村雅史)

第52回原爆講座

8・6の意味するもの

7月3日(火)の「キリスト教の時間」は、本学院卒業生・嘉屋重順子さんのお話を伺った。疎開先より戻られた8月6日におじの家で被爆、気付くと机・椅子・畳のあった部屋は崩れ土の上に。我が家の方向もやがて燃え始め、ご自身、顔全部、右手の内側に火傷を負いつつ逃げ、五日市のおじの家に辿り着き母親と再会された。被爆の真相に迫る衝撃的なお話であった。後に教員となり、平和教育に携わる中、生徒が父母らに戦争・原爆の話を書き書いた作文が3、4行の内容だった事に驚き、自ら被爆体験を書き、やがて語るようになった。最後に、核のボタンを押すのを止めるのは、私達一人の人が意見を言い、手を繋ぐことだと結ばれた。

7月24日(火)は、ワールド・フレンドシップセンター(以下「WFC」という)館長、パーバラ・シェンクさんにご講演いただいた。1965年にWFCを設立したパーバラ・レイノルズ氏が、ヨットで水爆実験区域へ侵入し抗議した事、被爆者を伴い8か国150都市を回る巡礼の旅をしたお話の後、館長ご自身、後に教育者となられ、アメリカ人の生徒に、「佐々木禎子さん」や「新ちゃんの三輪車」の話を用い、原爆の悲劇を伝えたことを話された。最後に、世界から来た人に被爆者に会える場所、友情を築き平和を促進する場所として、締めぐりガイドを始め、多岐にわたるWFCの活動をご紹介くださった。

(宗教センター事務課長 坂野康文)



パーバラ・シェンク館長



嘉屋重順子先生

学芸で「新人賞 学術論文部門」

(2017 Best Research Article)

by a New Researcher を受賞した



2018年6月23日に、中国地区英語教育学会にて新人賞を受賞しました。受賞した論文、「動物看護学生の英語学習動機尺度の開発」は、ヤマザキ動物看護大学の犬橋由紀子先生、北海道教育大学の片制徳昭先生と共著で執筆し、「中国地区英語

教育学会研究紀要」の第48号(2018年出版)に掲載されています。動物看護分野で学ぶ学生はどのような動機で英語を学ぶのか、それを知る道具が必要ではないかという問題意識のもと始めた研究です。無事にその道具を完成させ、学会では調査方法や分析方法が適切で、完成度の高い研究であるとの評価をいただき、専門の強みを出し合うことの大切さを学びました。この経験を活かし、よりよい研究ができるよう精進したいと思います。(国際英語学科 関谷弘毅)

湊晶子院長・学長の著書

「初代教会と現代」出版



湊晶子院長・学長が生涯をかけて綴った論文集(五二六頁)が出版されました。研究者のみならず女性にとって大きな希望となる著作です。(詳細は大学HP)

中学・高校

Junior high school & High school

平和を祈る週(6/11~6/16)

平和を祈る週特別礼拝講師として、昨年ノーベル平和賞を受賞したICAN(核兵器廃絶国際キャンペーン)の国際運営委員である川崎哲さんをお迎えしました。

川崎さんの核問題との最初の出会いは、お父さんに広島に連れてこられた中2の時だったそうです。また大学時代に旅した中東で戦争が起きたことから、反戦平和運動に関わるようになり、卒業後、NGOに所属し世界に出ていくと、日本人としてヒロシマ・ナガサキについて聞かれることが多く、この問題に取り組むようになられたといっています。

核兵器禁止条約の採択について「今までは核を持っている国、強く大きな国が国際ルールを決めてきた。しかしヒバクシャ、市民運動、小国が先導して、122か国という国際社会の圧倒的多数の賛成により、新しいルールが作られたのは画期的なことだ。NGO活動で大切なのは人間関係、立場の違う人とも向き合い、丁寧に話を積み重ねていく、そういう姿勢が物事を変えていく力になる」、また「ヒロシマを知らなくても核兵器に反対する人たちがいるのは、今後使われる可能性を考えるから、平和学習とは、昔起きたことを学ぶだけでなく、これからの世界をどうしていきたいか考えるためのものだ」というメッセージをいただきました。

週間中、中学礼拝委員会・高校宗教委員会主催の昼の集いで、広島・呉の戦時下の暮らしを描いた映画『この世界の片隅に』を上映しました。

また中学では、千羽鶴を作成し、8・6平和記念式で広島女学院原爆慰霊碑に捧げました。

(宗教教育委員会 刀祢館美也子)

8・6平和記念礼拝

8月6日(月)午後1時30分から、ゲインズホールで、中一、中三、高二の生徒が出席し、多くの来訪者の方々と共に、広島女学院の生徒・教職員350余名を含む原爆犠牲者をおぼえ、平和を祈る「8・6平和記念礼拝」が行なわれました。

講師の近藤敏子さんは、生後8カ月で爆心地から1.1キロにある広島流川教会の牧師館で被爆。父の谷本清牧師は、米国全土を巡り、広島の惨状を伝え、被爆した少女や孤児の救済活動に取り組みされたことで有名な方です。

近藤さんは、幼い頃、教会でかわいがってくれたお姉さんたちの顔や体に残る火傷の傷跡を見て、原爆を投下した飛行士に敵を討つてやると思っていました。父の谷本牧師が原爆の傷跡に苦しむ若い女性に渡米治療費の募金のため出演したテレビ番組で、敏子さんはエノラ・ゲイの副操縦士キャプテン・ルイスに出会います。彼は、原爆投下直後の広島街を見つめて、「おお神よ、私達は何としようか」としてしまったんだらう」と思ったと語り、涙を流しました。10歳の敏子さんは衝撃を受け、「憎むべきは人ではなく、戦争を起こす人間の心の中の悪。自分は正しい人間だと思っていたけれど、自分の心にも悪がある。神様、ごめんなさい」と祈りました。

また、中学時代、ABC(原爆被害調査委員会)で、下着一つで多くの人の前に立たされ、つらく恥ずかしい思いをし、「もう二度と自分が被爆者だと言まい」と決め、ヒロシマを避けて生きていた時期もありました。

現在は、国内外で体験や平和を伝える活動をされており、最後に「次の時代はあなたがたが作っていく。私の願い・希望を託していきたい」と語られました。

(宗教教育委員会 刀祢館美也子)

グローバル教育推進部より

毎年夏休みに行っている

Peace Forumは、今年で10年目を迎えました。ハワイをはじめ、沖縄、東京、大阪など国内外計10校150名の高校生が集まりました。議題は、核兵器禁止条約です。参加者は各国の状況をリサーチした結果を報告し合い、核軍縮に向けての提言を議論、発表しました。年々テーマが深まり、生徒たちのディスカッション力がついていることを実感しています。



例年がない暑さの中でしたが、校外での碑めぐり、署名活動を実施しました。碑めぐりには80名の生徒が参加し、県外・国外の10校に平和公園を案内しました。今年初めて中学生による碑めぐりを行いました。プレゼンテーション力が非常に高く、お客様からとても喜ばれました。署名実行委員会による核兵器廃絶を求める署名活動にも、延べ本校生徒136名、国外・県外を含む202名の参加者が集まりました。暑い中ががんばってくれた皆さんに感謝しています。8月10日には、G1特別講座に福原正大先生をお招きしました。福原先生は本校のグローバル教育アドバイザーで、一橋大学などで教壇に立たれています。福原先生より、STEM教育の模範授業をしていただきました。STEMとは、Science, Technology, Engineering, Art, Mathの略で、自然科学と芸術の力を融合させる教育のあり方を表しています。今回は、統計学の基礎知識をもとに、「円形のピザを7人に分けるにはどうするか?」ただし、カットは3回まで」という問題にチャレンジしました。数学的な発想がいかに重要か、そして数学だけでなく芸術的な発想から「平和」をどうデザインするか、刺激的な授業でした。

(グローバル教育推進部 安宅弘展)

中1学年合宿

4月26日、27日と、中1はグリーンピアせとうちで学年合宿を行いました。まずは最初に、ゲインズホールで開会礼拝。広島女学院の成り立ち、校母ゲインズ先生のお話などを聴き、比治山にあるゲインズ先生のお墓の前に行き、墓前礼拝をクラスごとに行いました。墓前礼拝では、生徒によるお祈り、献花、そしてゲインズ先生の愛唱讃美歌294番を、心を込めて歌いました。

グリーンピアせとうちでの最初の行事は、「同級生インタビュー」です。準備した質問をもとに、あまり話をして、友達のことを知り、知らなかった自分も発見しようという企画です。天気にも恵まれ、広い野原、澄み渡る空、美しい海と鳥々をバックに、それぞれの時を過ごしました。このインタビューをもとに、5月10日のLHRでは、1分間の一味違う自己紹介「自分を語る」を行いました。

夕食の後は、振り返りの時間と、キャンドルサーブス(燭火礼拝)。キャンドルの幻想的な灯の中で、静かな礼拝の時を持ちました。

2日目は、音楽の時間に練習を重ねた各クラスの「校歌*讃美歌発表会」。各クラス、校歌と担任の先生が選んだ讃美歌を、担任の先生の指揮のもと、楽しく歌いました。

その後はクラス対抗ドッジボール大会。応援も競技も、黄色い声援?飛び交う、熱狂的な時間となりました。最後はみんなで、やはり大騒ぎしながらのパーベキュー。最後までみんな元気に、楽しく過ごしました。この合宿を糧に、これからも楽しく充実した学校生活を送ってほしいと思います。

(中1合宿係 福岡美香)



高1オリエンテーション合宿



青いリボンの新しい制服に身を包み、新クラスでの緊張感も残る4月下旬、高1生徒はグリーンピアせとうちでオリエンテーション合宿に出発しました。ここは中1の4月にも同様オリエンテーション合宿を実施した場所ですが、右も左も分からなかったあの時とは違い、自身の将来に向き合うための合宿です。中1の時は、広島女学院での生活に慣れ友人との絆を築くためのものでしたが、高1では卒業後の進路や仕事、そこに至るための今の自身の立ち位置の振り返り、そして自分を支えてくれる家族への感謝に気づくための場です。

1泊2日の行程の初日は、進路の講演から始まりました。進路部長の話に耳を傾けます。その後は、ダンス練習・クラスメイトのいいところ探し・ミニ登山と、HR活動が続き親睦を深め、夕方からはメイン行事である、自分や家族、将来について考える時間に移ります。保護者の方からの手紙を読む際には涙する生徒も見られ、過去の自分、現在の自分、自分の個性、家族との関係性について一人一人が深く考える機会となりました。夜は、自分の夢や高校生活の展望を語る原稿作りをおこない就寝です。翌日、クラス毎に皆の前で自分の口で夢を語り、最後は保護者の方への手紙を書いて締めくくりました。

3年後、この生徒達はそれぞれの夢を叶えるために、自分だけの新たな一歩を踏みだしていると思います。そのための3年間の高校生活、勉学のみならず人間力を育むことも忘れないで欲しいと教員一同切に願います。そのスタートにふさわしい時となったのではないのでしょうか。

(高1合宿係 川鍋元広)

夏期海外生活体験学習

7月26日から8月11日まで、中3生徒16名は、オーストラリア・メルボルン郊外に位置するキルピントングラマースクールでのホームステイ研修に参加しました。

到着した当初は英語しか通じない環境や生活習慣の違いに戸惑っていましたが、徐々に発言や質問をすすんでできるようになりました。また、日本語や体育、芸術など様々な授業に参加させていただき、グループやペアでの活動しながら現地の生徒達と交流しました。8月6日には「Parramatta」として、広島や平和に関するプレゼンテーションを行いました。生徒達は準備してきたパワーポイントをみせながら、原爆や広島復興、広島女学院での平和活動、サロー節子さんについて英語で説明をしました。キルピントン生徒はとても真剣に聞いてくださいました。その後、ともに輪になって折りを捧げ、折鶴を折りました。

2週間というわずかな時間でしたが、生徒達は英語力の向上もさることながら、自らすすんで行動することの大切さ、異文化におけるコミュニケーションの取り方など、研修を通してたくさん学ぶことができました。

(グローバル教育推進部 和田知亜紀)



中2チャレンジキャンプ

9年目を迎える中2チャレンジキャンプ。今年は豪雨災害のため延期になり、9月7日・8日の1泊2日に変更し、芸北の自然豊かな地で行われました。

例年と同じく、中2生徒4〜5名に、高校生リーダーが一人付き、一つのグループを作りました。短い日程でしたが、雨の中で行ったテント設営や、飯盒炊きさんでつくるカレー作りなど高校生リーダーを中心に中2も一生懸命取り組みました。また、恐羅漢登山では、リーダーと励まし合いながら、全グループ無事に山頂に着くことができました。あいにく山頂からの景色は見えませんが、下山後の表情には達成感あふれ、中2にもそしてサポートしたリーダー達にも自信がつけられたようでした。

途中、土砂降りや激しい雷が鳴るなど、自然の驚異を感じることもありましたがそういう体験の中で生徒は一回り力強くなったと思います。普段の生活にはない困難に、日頃の生活や家族への感謝を深く感じたのではないのでしょうか。

解散式ではお世話になった高校生リーダーとの名残を惜しむ中2の姿が印象的でした。

(チャレンジキャンプ委員 永松正彰)



中高文化祭の「ご案内」

一般公開

11月3日(土・祝)

9時15分〜15時30分



ぱちえる

文化祭では、日ごろのクラブ活動の成果や学校生活の様子を、たくさんの方々楽しんでいただきたいと思います。今年度のテーマは「軸」です。手で紡いだ軸糸を丁寧に織り上げるように、生徒ひとりひとりがそれぞれの魅力的な個性を發揮して力を合わせ、文化祭が素敵なものになるよう準備を進めています。ぜひご来場ください。お待ちしております。

(高校生徒会顧問 山崎綾子)



パンフレット
高校1年/山本飛鳥



ポスター
高校1年/藤川遥妃

生徒の活躍

女学院

クリスマスのご案内

- ◎日時/12月19日(水)
- ◎場所/中高グリーンスホール
- ◎内容/クリスマス礼拝(一般公開)

在校生・保護者・卒業生・本校志望者とその保護者の方・一般市民の方々・どなたでもご参加いただける公開クリスマス礼拝です。

牧師先生のメッセージ、高校演劇部によるクリスマスにちなんだ劇、パイプオルガン、ハンドベルなど、共に聖書を読み、讃美歌を歌い、クリスマスをお祝いいたしましょう。

入場は無料ですが、席上で献金へのご協力をお願いします。国内外の施設やNGOなどに寄付いたします。強制ではなく、額もご自由にお捧げ下さい。(宗教教育委員 刀祿館美也子)

マンドリン部

平成30年度

全国高等学校
ギター・マンドリン
コンクール

優秀賞

◆泉佐野市長賞(第4位)



幼稚園

Kindergarten

幼小連携のこれから

主体性を重んじ、見えな
いものに目を注ぎ、幼保を
一体的にとらえて共に育つ
歩みを継続してきたキリス
ト教育。この度の幼稚園
教育要領・保育指針改訂の
重要事項はどれも、キリス
ト教育がもとより大切に
し続けてきた姿勢と重なっ
ていきます。中でも、「カリ
キュラムマネジメント」と
いう言葉が共有化されたこ
とで、「小学校入学」という
短期間で部分的な接続に
限定されることなく、乳児か
ら高齢者までの教育の全体
の目標「平和をつくる」こと
に、ぶれることなく一貫性
をもってあたることができ
る基盤が整ったと捉えてい
ます。小学校に合わせ、子
どもを「育てる」のではな
く、幼児期に「育つてきた
姿」を土台として小学校教
育が取り組まれ、「成長させ
てくださる神」によってそ
の子らしく育ち、「神と共に
働く者」として個々の賜物
が生かされ、「共に生きる社
会と世界をつくる」ことが
継続されていく地域連携
を、丁寧に大切に始めてい
きたいと願っています。

(園長 高田憲治)

豊かな恵みの中で



先生と一緒に祈り

園庭には果樹がいっぱいあります。
サクランボやスモモ、アンズやヤマモ
モ、ブドウやカリナなど、折々に色づ
き、実り、香りを楽しませてくれていま
す。その場でほおぼる子もいれば、とに
かく拾って集めることに熱心な子もい
ます。「みてみて！ いっぱいとつた
よ！」と手には収まりきれないほど集
めていた子は、少し経つと「全部お友だ
ちにあげた！」と満面の笑みで教えて
くれました。収穫だけでなく、分け合う
ことの喜びも溢れ、様々な場面で神様
からの恵みと愛の導きを感じる日々で
す。いつもその時々豊かな実りを与
えてくださる神様、子どもたちととも
に感謝の日々を過ごしています。

(幼稚園 櫻木景子)

平和の祈り

新学期から3ヶ月、新しい仲間と出会い繋がり
始めた6月、「平和」を考える日々を過ごしてきま
した。聖書の言葉から「平和」を感じたり、戦争の話
を聴いたりしながら、「平和」について話し合い、子
どもたちと平和公園に折鶴を捧げに行きました。
園生活では一人ひとりの思いが違ってぶつかる
こともあり、その都度立ち止まって、互いを
認めていく機会を大切にしています。そんな関わり
を重ねていく内に、実は「平和」は自分たちの身
近な生活と重なっていると受けとめ始めてきてい
ます。子どもたちの「平和」へ繋がる第一歩となり
ますように。

(幼稚園 横沢政人)



それぞれの思いをもって、原爆ドームを見つめました。



原爆の子の像に折鶴を捧げ、平和へのメッセージを届けました。

夏祭り



たいこにあわせてみんなで踊ろう!

台風一過でお天気に
恵まれ開催することが
できた夏祭りは、どの
コーナーも賑わい笑顔
があふれていました。こ
の度の収益金は豪雨被
災者の方々にも用いて
いただこうと思ってい
ます。「わせばんだいこ」
の皆さんをお招きした
ステージも盛り上がり、
卒園生によるステージ
では、ピアノ演奏、ダン
スや少林寺拳法など多
彩なタレントを披露し
てくれました。

(幼稚園 木村和美)

校 勢 概 要

(2018.5.1現在)

■専任教職員数

(単位:人)

種 別	性 別	大 学			中 高		幼 稚 園	法 人	計
		男	女	計	中 学	高 校			
教員計	男	31	13	14	27	2	0	60	
	女	28	19	18	37	10	0	75	
	計	59	32	32	64	12	0	135	
職員計	男	15	1	0	1	0	3	19	
	女	44	2	4	6	0	3	53	
	計	59	3	4	7	0	6	72	

■学生・生徒・園児在籍数

(単位:人)

校 部 科	学 年	学 年				小 計	計
		1	2	3	4		
言語文化研究科 博士後期課程	日本語 文化専攻	-	0	1		1	1
	日本語 文化専攻	-	1			1	1
言語文化研究科 博士前期課程	日本語 文化専攻	2	-			2	3
	英米語 文化専攻	1	-			1	
国際文化研究科 修士課程	生活文化学 専攻	0	1			1	1
	生活科学 専攻	0	0			0	
大学人文学部	国際英語 学科	89	-	-	-	89	135
	日本文化 学科	46	-	-	-	46	
大学国際教養学部	国際教養 学科(GSE)	-	107	105	130	342	342
大学人間生活学部	生活デザイン 学科	91	-	-	-		252
	生活デザイン・ 建築学科	-	52	54	55		
	管理栄養 学科	84	65	79	79	307	875
	児童教育 学科	82	-	-	-		
	幼児教育 心理学科	-	75	79	80		
大学文学部	日本語 日本文学科				1	1	1
高等学校		242	190	216			648
中学校		205	204	204			613
幼稚園		3年保育 66	2年保育 69	1年保育 80			215
計		908	764	818	345		2,835

★財産目録

一、基本財産 8,815,447,957円		幼稚園建物 1,560.66㎡ 163,871,316円	
1.土地	大学校地 202,404.33㎡ 581,008,581円	法人建物 808.72㎡ 44,732,584円	計 60,850.00㎡ 5,843,910,068円
	高等学校校地 10,716.12㎡ 336,684,120円		
	中学校校地 13,002.00㎡ 195,030,000円		
	中高等官舎跡地 852.89㎡ 8,528,900円	3.構 築 物 239点 162,322,186円	
	幼稚園校地 3,328.25㎡ 3,507,070円	4.教 具・校 具・備 品 24,157点 365,402,527円	
	校外土地 568.26㎡ 13,439,017円	5.図 書 196,272冊 1,303,294,446円	
	計 230,871.85㎡ 1,138,197,688円	6.車 輛 6台 2,321,042円	
二、運用財産 2,384,514,347円		二、運 用 財 産 2,384,514,347円	
2.建物	大学建物 39,491.48㎡ 3,619,377,547円	三、負 債 3,336,529,731円	
	高等学校建物 11,093.55㎡ 1,420,157,372円	四、正 味 財 産 7,863,432,573円	
	中学校建物 7,895.59㎡ 595,771,249円		

○2017年度財務三表

★資金収支計算書

(単位:円)

科 目	金 額
収入の部	
学生生徒等納付金収入	2,222,008,560
手数料収入	46,868,060
寄付金収入	55,596,176
補助金収入	587,277,666
付随事業・収益事業収入	36,292,890
受取利息・配当金収入	1,840,845
雑収入	180,361,487
借入金等収入	0
前受金収入	390,465,000
その他の収入	138,415,805
資金収入調整差定	△ 442,110,761
前年度繰越支払資金	1,141,367,124
収入の部合計	4,358,382,852
支出の部	
人件費支出	2,036,557,119
教育研究経費支出	479,431,038
管理経費支出	245,664,639
借入金等利息支出	11,548,939
借入金等返済支出	171,380,000
施設関係支出	174,909,230
設備関係支出	65,108,591
資産運用支出	50,633,700
その他の支出	208,902,390
資金支出調整差定	△ 246,090,198
翌年度繰越支払金	1,160,337,404
支出の部合計	4,358,382,852
支払資金の増減額	18,970,280

★事業活動収支計算書

(単位:円)

科 目	金 額
収入の部	
学生生徒等納付金	2,222,008,560
手数料	46,868,060
寄付金	54,592,728
経常費等補助金	544,321,666
付随事業収入	36,292,890
雑収入	181,214,673
教育活動収入計	3,085,298,577
教育活動外収入	1,840,845
特別収入計	50,091,906
収入の部合計	3,137,231,328
支出の部	
人件費	2,027,462,878
教育研究経費	909,993,341
管理経費	255,675,795
教育活動支出計	3,193,139,014
教育活動外支出	11,548,939
特別支出計	3,578,459
支出の部合計	3,208,266,412
基本金繰入前当年度収支差額	△ 71,035,084
基本金繰入額合計	△ 357,196,605
当年度収支差額	△ 428,231,689
前年度繰越収支差額	△ 9,713,469,678
基本金取崩額	0
翌年度繰越収支差額	△ 10,141,701,367

★貸借対照表

(単位:円)

科 目	金 額
資産の部	
固定資産	9,879,041,602
有形固定資産	8,815,447,957
その他の固定資産	1,063,593,645
流動資産	1,320,920,702
資産の部合計	11,199,962,304
負債の部	
固定負債	2,502,877,174
流動負債	833,652,557
負債の部合計	3,336,529,731
純資産の部	
基本金	18,005,133,940
翌年度繰越収支差額	△ 10,141,701,367
純資産の部合計	7,863,432,573
負債及び純資産の部合計	11,199,962,304

事務局

Secretary

会議報告

第162回理事会

2018年4月18日14時から開催。

【審議事項】

第2次中期計画に掲げた課題対応や進捗管理等のため、日本私立学校振興・共済事業団の経営相談事業への申込みを決定。

次に、広島女学院大学国際教養学科GSEメジャー選択学生特待制度規程等を改正。

【報告事項】

各学部からの学事報告、退職金及び慰労金の支給、広島女学院大学チャレンジ制度規程等大学規程の制定、2017年度監事監査報告等。

第163回理事会

2018年5月25日14時から開催。

【審議事項】

2017年度事業報告案及び決算案について、質疑応答の後、承認。

次に、給与規程(中高教員関係分)、理事長報酬、各種基金の2017年度決算報告及び2018年度事業予算案、2018年度内部監

査計画について、承認。

【報告事項】

学事報告、2018年度監事監査計画、2017年度内部監査実施状況報告等、5月定期評議員会

2018年5月30日14時から開催。

【選任事項】

任期満了となった城評議員を再任。任期は、2018年6月1日から3年間。

次に、任期満了となる高橋監事の再任、及び利島監事の辞任に伴う後任として藤井保氏の選任について同意。任期は、両名とも2018年6月1日から3年間。

【諮問事項】

2017年度事業報告について、財務の安定や学部学科の特色づくり等に今後一層努力することの要望が出された後、承認。

次に、2017年度決算、未利用資産の処分方針について、承認。

【報告事項】

学事報告、2017年度監事監査報告。

第164回理事会

2018年6月22日14時から開催。

学事報告、大学規程等の

制定(学習成果の評価に関する方針、情報セキュリティポリシー)

【審議事項】
広島女学院大学国際英語学科GSEコース選択学生特待制度規程の改正。

【報告事項】

学事報告、監事の選任、未利用資産の処分交渉状況、2017年度決算に基づく財務分析等。

第165回理事会

2018年7月27日14時から開催。

【審議事項】

中高授業料の2019年度入学生からの値上げについて、増額理由に係る意見交換の後、学則を改正。

【報告事項】

学事報告、第2次中期計画の完成版の作成、各学部で行ったSWOT分析、西日本豪雨による被害状況。

第166回理事会

2018年9月28日14時から開催。

【審議事項】

保育士養成課程と保育実習実施基準の改正に伴う大学学則の変更を決定。また、7月豪雨災害に係る復旧費用や大学の大幅定員超過による学納金の増等に伴う補正予算案を決定(10月定期評議員会に諮問した上で10月理事会で議決)。

【報告事項】

学事報告、大学規程等の

制定(学習成果の評価に関する方針、情報セキュリティポリシー)

制定(学習成果の評価に関する方針、情報セキュリティポリシー)

制定(学習成果の評価に関する方針、情報セキュリティポリシー)

制定(学習成果の評価に関する方針、情報セキュリティポリシー)

制定(学習成果の評価に関する方針、情報セキュリティポリシー)

The 34th MESSIAH 2018.12.23

広島女学院クリスマスコンサート「メサイア」を開催いたします。
ご家族お誘い合わせでご来場ください。

◎日時/2018年12月23日(日・祝) 開場▶17:00 開演▶17:30

◎会場/中学・高等学校ゲーンズホール

お問い合わせ/法人事務局総務課 TEL:082-228-0380



広瀬ハマコ記念基金のご案内

広瀬ハマコ先生は、校母ナニ・B・ゲーンズ先生から直接薫陶をうけられました。その期待に応えられ、園長、学長、院長、理事長として36年間に渡り、本学院発展のために尽力されました。
1988年にご召天。その後、私財は全額先生ご遺言により本学に寄附され、「広瀬ハマコ記念奨学基金」の制度がうまれました。基金の運用益をもって次の事業を行うと定めています。

一、本学院の教壇に卒業生の人材を確保するための奨学金を支給する。

二、留学を希望する内外学生、生徒の学費を援助し国際化を促進する。

応募については次の通りです。みなさま奮ってご応募ください。

●応募条件/本学(高校、大学)卒業生で国内外の大学院在学者

●選考/本人申請により3月・9月に行います。

◎詳細お問い合わせは、法人事務局総務課へ
☎082-228-0387 (院長 湊島)

井田憲明先生
(元理事長)ご召天

井田憲明先生は、1966年9月から1981年10月まで、さらに1994年5月から2009年3月まで、通算30年余りの長きにわたり理事として、ご貢献をいただきました。とりわけ、1997年4月から2003年5月までは理事長をお引き受けくださいました。

また、先生はマツダ病院の院長も務めておられ、ゲーンズ幼稚園の園医としても長くご尽力をいただきました。

ここに謹んで追悼の意を表しますとともに、安らかにご永眠されますよう、心からお祈り申し上げます。

2018年度保護者会役員

大学協力会 (教務略号不詳)

- 会長 中川 賢
- 副会長 中島久美
- 理事 長田ひかり
- 理事 折本美貴
- 理事 中倉恵子
- 理事 明珍由美子
- 理事 吉本美紀
- 理事 栗栖美智子

中高PTA

- 会長 深田洋介
- 副会長 伊藤みさお
- 〃 高下裕子
- 〃 櫻井克政
- 〃 武田真吾
- 〃 近久和彦
- 〃 大川公治
- 〃 藤井宏章
- 〃 澤井貴介
- 会長 浅野雅子
- 副会長 中倉智子
- 会計 西本紀子
- 会計 有田志穂

教職員動静

4月1日～9月15日受付分

結婚

- Florence Smith 2018.3.2 (中高助教諭)
- 寄田小百合 (中高養護教諭)
- 片山と改姓2018.5.4

誕生

- 茉奈(まな)ちゃん

松岡映絵 中高教諭

2018.7.10

召天

- 井田憲明 様 (元理事長) 2018.4.4
- 小川清 様 (名譽教授) 2018.4.5
- 岩村聡 様 (大学非常勤講師) 2018.5.9
- 甘川照雄 様 (甘川加緒理 中高教諭)
- 木本治男 様 (塚本有香 中高教諭)
- 磯部茂樹 様 (磯部祐実子 大学専任講師)
- 石原喜久子 様 (宇根治 大学総合学生支援センター 学生課長)
- 小坂好将 様 (中高事務部主任)
- 小坂千穂 様 (事務課職員)

人事

- 深田洋介 (2018.3.27～2018.5.31)
- 星野晴夫
- 岩崎裕香
- 松尾信孝
- 辻学
- 細田信行

評議員

2018.4.1～2021.3.31

- 深田洋介 (2018.3.23～2021.5.22)
- 安達春汀
- 高見知伸 (2018.4.1～2021.5.31)
- 小林克哉 (2018.4.1～2021.3.31)
- 城一博 (2018.6.1～2021.5.31)
- 藤井保
- 高橋鏡則 (2018.6.1～2021.5.31)

退任

- 西嶋佳弘
- 理事・評議員 福戸山正明
- 評議員 武田真治
- 渡辺信一
- 監事 利島保
- 採用 石川優香 (幼稚園常勤嘱託教職員) 2018.7.1付
- 並屋優子 (幼稚園教諭(任期付教員A)) 2018.6.30付
- 下高呂千春 (中高事務部主任) 2018.7.31付

退職

- 深田洋介
- 星野晴夫
- 岩崎裕香
- 松尾信孝
- 辻学
- 細田信行

日誌抄

- 4.2(月) 新任式・礼拝、オリエンテーション
- 4.4(水) 大学院 大学入学式
- 4.5(木) 4.10(火) 公認会計士現物監査
- 4.7(土) 中学校入学礼拝
- 4.9(月) 高等学校入学礼拝
- 4.11(水) 幼稚園入園礼拝
- 4.12(木) 経営会議
- 4.13(金) 事務協議会
- 4.18(水) 理事会
- 4.23(月) 4.30(月) 公認会計士会計監査
- 5.1(火) 5.7(月) 5.14(月) 5.8(火) 経営会議
- 5.10(木) 事務協議会
- 5.12(土) 中高体育大会
- 5.17(木) 監事監査
- 5.19(土) 幼稚園同窓会
- 5.24(木) 学院運営協議会
- 5.25(金) 理事会
- 5.26(土) 大学卒業生の集い
- 5.30(水) 評議員会
- 6.7(木) 事務協議会
- 6.14(木) 経営会議
- 6.21(木) 学院運営協議会
- 6.22(金) 理事会
- 6.26(火) 7.11(水) 7.20(金) 第2次中期計画ならびに2017年度決算説明会
- 7.5(木) 事務協議会
- 7.12(木) 経営会議

寄附

- 7.27(金) 理事会
- 8.6(月) 被爆73年平和祈念式
- 9.6(木) 事務協議会
- 9.13(木) 経営会議
- 9.18(火) 9.19(水) 9.20(木) 9.21(金) 入園説明会
- 9.28(金) 理事会
- 9.29(土) 中学入試説明会
- 10.1(月) 創立記念日
- 9月4日受付分まで (教務略号不詳)
- 西日本豪雨災害お見舞いとして 山崎製パン株式会社 5,000,000円
- 広島女学院同窓会 3,000,000円
- 株式会社NSP設計 桜の聖母短期大学 一般社団法人全国栄養士養成施設協会 長西貞美 広島管財株式会社 株式会社富士通マーケティング 中四国営業本部 中国支社 1,000,000円
- 内田みずえ 関西学院大学 株式会社紀伊國屋書店 浄土宗智水山清住寺 50,000円
- 山陽空業工業株式会社 30,000円
- 服部啓子 日本基督教団

- 10,000円 西日本豪雨災害義援金として 一般社団法人キリスト教学校教育同盟 4,997,648円
- 広瀬ハマコ奨学金として 長西貞美 50,000円
- あやめ荘エアコン更新のために 牛田東四丁目町内会 40,000円
- 広島女学院のために 田村興造 10,000円
- 広島女学院大学のために 株式会社ワールド・アルマイト 1,000,000円
- オリキャン貸切バス利用料として 広島女学院大学協力会 1,000,000円
- グレース奨学金として 広島女学院同窓会 600,000円
- ガウン・帽子・フード保管料として 広島女学院大学協力会 280,422円
- 管理栄養学科のために 2017年度 管理栄養学科卒業生一同 62,907円
- 生活デザイン・建築学科のために 2017年度生活デザイン・建築学科卒業生一同 30,000円
- 中高教育充実のために 山田朝子 1,000,000円

- 加藤弘輝 高見知伸
- 畑野喜信 40,000円
- 石田直子 内田瞳
- 高梨弘 竹林拓也
- 依 倫子 星野晴夫
- 前 瑛子 皆本陽子
- 渡辺信一
- 匿名(1名) 20,000円
- 吉田絵理子 18,800円
- 小山雅之 14,400円
- 大方邦子 10,000円
- アイリスセンター維持費として
- 広島女学院同窓会 600,000円
- 打楽器調整代として
- 広島女学院中等高等学校吹奏楽部OG会 32,400円
- 星野先生退官記念として
- 広島女学院高校音楽部OG会 10,000円
- 親交会お礼として
- 増原宗司 5,000円
- VISHパスキャッチシステム年間利用料として
- 広島女学院ゲーンズ幼稚園みざわ会 103,680円
- ゲーンズ幼稚園のために
- 匿名(1名) 30,000円

- 久保知子 10,000円
- 書籍図書として
- 湊晶子
- 『聖書は何と語っているでしよう』
- 株式会社廣文館
- 『ラジオ基礎英語123』各12冊
- 成城大学文芸学部
- 『ヨーロッパと女性』他1冊
- 中央酪農会議
- 『ミルク日記』福岡伸一
- 『フェルメール光の国』阪南大学研究部研究助成課
- 『キリスト教と社会学の間』他1冊
- 加納三千子
- 『廣瀬月江の家庭科教育論』広島県サッカー協会事務局
- 『広島サッカー85年史』吉川美彦
- 『日野原重明の世界』仙田満
- 『人が集まる建築』河内満
- 『ビジネス教育論の展開』福西征子
- 『ハンセン病療養所に生きた女たち』大同生命国際文化基金
- 『時の一歩』岡田俊裕
- 『地理学者の戦時期著作

- 目録
- 広島大学大学院総合科学研究科
- 『タバコ広告でたどるアメリカ喫煙論』
- フェリス女学院大学
- 『世界文学としての夏目漱石』国文学研究資料館
- 『死を想え「九相詩」と「休骸骨」他7冊
- 中国四国イギリス・ロマン派学会
- 『詩的言語のアスペクト』西河内靖泰
- 『知って得する図書館の楽しみかた』他47冊
- 香川哲三
- 『佐藤佐太郎純粋短歌の世界』
- 日本学術協力財団
- 『子どもの健康を育むために』植西浩一
- 『国語科教師の実践的知識へのライフヒストリー！アプローチ』他4冊
- 立正大学文学部
- 『おもしろさうし研究』栗原理
- 『愛の教育者鶴虎太郎』株式会社エム・アイ・ピー
- 『Gentiana vs. Samura』英日対訳版
- 内藤みどり
- 『Citizen power: p&K』麻尾順子
- 『4年生の読みもの』堀越ゆき
- 『21世紀の資本』
- 広島市立大学

- 「際」からの探究
- 現物書附
- 森保尚美
- パナソニックモバイル
- ノートPC 1台
- 伊藤千尋
- ノートPC 1台
- 田中圭子
- Surface Laptop
- 山崎製パン株式会社
- 壁掛け時計一式
- 中文生
- 油絵「広瀬ハマコ」他
- 今井 妙
- ベルトパーテーション
- ボール 8本
- 松崎友未
- チューバ 1本
- 飯田奈桜
- 琴 1張
- 隈崎 譲
- アルバム 1冊
- (昭和13年3月卒業)
- 高等女学部第45回卒業)

**創立130周年
記念募金**

- 松尾信孝 725,432円
- 匿名(1名) 500,000円
- 広島女学院同窓会2018年ホームカミングデー参加者有志2回 200,000円
- 広島女学院同窓会関西ブロック 高校28回生 120,000円
- 功野博子 110,000円
- 伊藤榮子 大原澄子
- 岡田幸枝 佐藤眞里子
- 林 正史 藤田浩子
- 山田朝子
- 匿名(4名) 100,000円
- 折口裕樹 柏木久美恵
- 金谷慶子 坂下 恵
- 佐藤 努 武澤八重子
- 中川 章 中村慶子
- 野村育恵 林 恵理子
- 林 佳世子 藤川 昭代
- 匿名(4名) 50,000円
- 上 恵美 40,000円
- 広島女学院高校23期関東地区同期会有志 36,000円
- 呉地区の集い 31,000円
- 今井道子 内田恭子
- 神子澤新八郎 島末宏海
- 下垣内純子 砂本大造
- 信岡尚子 原田佳子

- 姫野敦子 藤井徳道
- 藤岡倫子 松本裕子
- 横山寧恵 古岡元子
- 匿名(3名) 30,000円
- 池田泰之 菅野栄進
- 妻木百合子 春木美和子
- 門那彰 山岸由佳
- 匿名(6名) 20,000円
- 新田桃子・咲良 16,000円
- 辻洋子 15,000円
- 益田晴子
- 益田敏夫 朝日智子
- 秋田信子 阿部方子
- 家富照子 石井恵子
- 石田泰子 石本力
- 伊藤直子 井上民子
- 井上ヨネ 井野口慧子
- 猪熊慶子 上野秀一
- 内田朝雄 内山豊子
- 宇根峯子 大儀佳代子
- 大西緑 大原賢代
- 岡野寛範 沖中紀子
- 尾崎龍浩 小澤圭子
- 甲斐仁美 角田令子
- 柏木惇 粕谷信夫
- 片倉健司 加藤和子
- 加藤登士雄 河崎光世
- 川島和華 川瀬昌子
- 河原都 喜種千恵
- 久留島律子 河野有紀
- 河野洋子 河野美子

児玉敦子	児玉君江
小林佳世	小松洋子
小山雅之	佐々木洋枝
佐田純子	佐田谷真理子
佐藤卓子	佐藤恒男
沢近英子	沢辺融
塩谷純子	清水聡子
白井知枝美	砂本英雄
角田津矢子	千田素子
高田晴美	高野佳子
高橋和子	竹内路子
武田信治	竹中繁雄
田中径子	谷 育子
玉田久美子	玉谷佳代
鶴紗也子	寺島順子
寺西多佳子	土井邦子
道音まり	冨原喜子
長岡孝枝	中沖文香
中川和子	中島和子
中谷美恵	中可久美子
中庭詢子	長沼和子
中光真弓	長嶺定利
中村明美	中村まい
那須待子	西村信子
能宗佑主	能宗宜子
信原宏礼	登 武彦
野見山正美	服部美津江
浜田留理子	原 誠
檜垣美里	平柳壽子
平野哲子	藤井和利
星野純子	細土ゆかり
松田佐智子	松本滋恵
三浦潤子	水野博子
光井萬里子	滝尾松江
宮野祥子	村本敏恵
百々順子	森 龍子
森川道子	森下敬

安武美紀	山口英里
山手万知子	山中祐子
山村玲子	山本民江
山本敏巳	結城穂
吉田徳子	吉武政博
吉政一枝	吉本光子
淀金保子	米田治子
和田恭子	
広島女学院同窓会山口支部 匿名(36名)	
10,000円	
土井節香	8,000円
若林マスマ 匿名(1名)	7,000円
第41回食物料い組卒業生 石橋浩子	6,400円
6,000円	
赤川知恵	石井航海
井元田鶴子	太駄ちはる
近江佳枝	岡部弘美
数田恵美子	河島富江
岸 友紀恵	菰口順子
瀬能雅子	瀧口京子
田邊富美枝	谷和子
永井達子	中原佳保
西 敦子	橋本仁子
松本かずみ	三島信枝
村上眞智子	山内悠記子
山田紀節	山元時枝
横山恵子	横山順子
渡辺滋子	
広島女学院高校23期関東地区 同期会有志 匿名(6名)	

匿名(1名)	5,000円
大野ゆかり	4,000円
匿名(2名)	3,000円
小出慶子	鈴木幸子
川口英子	2,000円
1,000円	
千葉浩之	1,500,000円
※記念募金事業A	
三戸和子	湊信明
匿名(1名)	100,000円
山口真司	匿名(1名)
50,000円	
山根寛子	30,000円
中西泰之	20,000円
天野浩子	井尻律子
後迫郁子	内田邦子
宇根峯子	小方澄子
寛三重子	梶井朝子
木村美年子	品川千恵美
進藤和子	末永由希
竹中繁雄	多田道子
田村邦	中西正人
中山保子	野津千鶴子
野間武子	波田洋子
藤原美由紀	古本孝弘
堀 敏次	松谷智子
丸山純子	宮川多恵美
匿名(4名)	

高野佳子	10,000円
中村明美	
保田峯子	5,000円
梶原英美子	匿名(1名)
3,000円	
山田綾子	2,000円
新井英子	杉本幸子
津谷和枝	吉田勢津子
1,000円	
※記念募金事業B	
匿名(1名)	50,000円
杉田三須津	平田弘子
30,000円	
加川洋子	亀山才子
高田雅弘	福岡澄子
匿名(2名)	10,000円
土居和子	匿名(1名)
5,000円	
吉原桂子	匿名(1名)
2,000円	
※記念募金事業C	
加藤光子	10,000円
山岡正明	5,000円
匿名(1名)	2,000円

同窓会からのお知らせ

**同窓会
バザー**

日時/2018年11月3日(祝・土)
場所/ゲースホール前テント(バザー)
同窓会館(Café アイリス)

献品は一年を通じ受け付けております。同窓会事務局までご連絡ください。
お問い合わせ▶同窓会事務局 TEL・FAX/082-221-1059

編集後記

7月の西日本豪雨は、平成最悪の豪雨被害となり特定非常災害に指定されました。牛田山の土砂崩れにより広島女学院大学の校舎も被害を受け、自然災害の恐ろしさを痛感しました。完全な復旧に至るまでは数ヶ月かかることが想定されています。このような時こそ教職員が一丸となり苦難と向き合い、乗り越えていくことで、今後の大学の学部改組の成功と発展につながることを期待しています。

(大学 土谷佳弘)

※募金事業
A 奨学金制度の充実
B 教育研究施設・設備の充実
C エンパワーメントセンターの充実

2018年度
ゲース学術奨励
受賞者

国際教養学部
国際教養学科/桑原 メリサ ゆかり

人間生活学部
生活デザイン・建築学科/桑原 美幸
管理栄養学科/原田 志織
幼児教育心理学科/岡田 優衣

2019年度 学生・生徒

・園児 募集要項



大学

〒732-0063 広島市東区牛田東四丁目13-1
電話:082-228-0386(代) FAX:082-228-7815



◆募集人員

- 人文学部 ●国際英語学科(GSE*コース・英語文化コース) 65名
●日本文化学科 40名
- 人間生活学部 ●生活デザイン学科 65名
生活プロデュース/被服・ファッションデザイン
インテリア/居住・建築デザイン/地域デザイン
- 管理栄養学科 70名
●児童教育学科[幼児教育コース・児童教育コース] 90名

*GSE - Global Studies in English

◆募集人員

(2018年11月実施以降)

入試区分	対象学科	出願期間		試験科目	合格発表日	試験会場
		インターネット 出願期間	紙出願 期間			
指定校別 推薦入試	全学部 全学科	2018年10月22日(月) ~11月5日(月)★	—	2018年 11月11日(日)	2018年 11月16日(金)	本学
公募推薦入試 4.5年次推薦 4.5年次推薦 7.5年次推薦 7.5年次推薦 7.5年次推薦 7.5年次推薦	全学部 全学科	第1回 2018年10月15日(月) ~10月26日(月)★	本 学	第1回 2018年 11月4日(日)	第1回 2018年 11月16日(金)	第1回 本学・福山・徳島・ 松山・高松・高知・ 香川・徳島・高松・ 高知・香川・高松・ 高知
		第2回 2018年11月21日(水) ~12月3日(月)★		第2回 2018年 12月6日(土)	第2回 2018年 12月14日(金)	第2回 本学
特待生入試	全学部 全学科	2018年1月4日(金) ~1月21日(月)★	—	2019年 1月30日(水)	2019年 2月13日(水)	一般出願 A日程と同じ
一般入試 (標準日程) A日程 B日程 C日程	全学部 全学科	2018年1月4日(金) ~1月21日(月)★	試 験 場	A日程 2018年1月30日(水)	2019年 2月13日(水)	A日程 本学・福山・徳島・ 松山・高松・高知・ 香川・高松・高知
				B日程 2018年1月30日(水)	2019年 2月13日(水)	B日程 本学・福山・高松
				C日程 2018年2月2日(土)	2019年 2月13日(水)	C日程 本学
一般入試 (標準日程)	全学部 全学科	2018年2月15日(金) ~2月27日(水)★	—	2019年 3月5日(火)	2019年 3月9日(土)	本学
Ⅲ 大学入試 センター試験 利用入試(A日程)	全学部 全学科	2018年1月4日(金) ~1月21日(月)★	—	大学入試 センター試験 2019年 10月21日(日)~20日(日)	2019年 2月13日(水)	—
大学入試 センター試験 利用入試(B日程)	全学部 全学科	2018年2月15日(金) ~2月27日(水)★	—	2019年 10月21日(日)~20日(日)	2019年 3月9日(土)	—
大学入試 センター試験 利用入試(C日程)	全学部 全学科	2018年3月11日(月) ~3月18日(月)★	—	2019年 10月21日(日)~20日(日)	2019年 3月23日(日)	—

★インターネット出願登録は、最終日午前11:00まで。
 ＊入試インターネット出願となります。(特別入試、編・転入試など一部異なります。)
 ＊試験科目など詳細は、入試ガイドまたはホームページにてご確認ください。
 ＊公募校別推薦入試に際しては、在学されている高等学校へお問い合わせください。
 ＊社会人・帰国生徒・外国人留学生特別入試、および転入試、編入試も実施します。
 ＊大学入試センター試験利用入試A日程では、成績優秀者に授業料優待制度があります。(授業料20%減額)

大学院

言語文化研究科<修士課程>
人間生活学研究科<修士課程>

◆募集人員(男女共学) <社会人・外国人留学生可、定員は春季・秋季計>

言語文化研究科
日本語文化専攻 修士課程/6名
英米言語文化専攻 修士課程/6名

人間生活学研究科
生活文化専攻 修士課程/6名
生活科学専攻 修士課程/6名

◆春季入試日程

出願期間:2019年2月15日(金)~2月22日(金)郵送必着
試験日:2019年3月4日(月) 合格発表日:2019年3月9日(土)

【資料請求】広島女学院大学 入試課 電話:082-228-8365(直)
URL▶<https://www.hju.ac.jp/> E-mail▶nyushi@gaines.hju.ac.jp

中学校

〒730-0014 広島市中区上楠町11-32
電話:082-228-4131 FAX:082-227-5376



キリスト教精神に基づいた教育を目指して

◆募集人員/200名(5学級)

◆応募資格/2019年3月 小学校卒業見込みの女子。
出願時、広島県および山口県東部在住の者。これ以外の地域から出願される場合は他の手続きあり。
詳細は「2019年度生徒募集要項」を参照のこと。

◆出願期間/2018年12月13日(木)より2019年1月6日(日)

◆出願方法/本校HPより出願の手続きを行い、期日までに必要書類を郵送のこと。

◆試験期日/2019年1月24日(木)

◆選考の方法/(1)筆記試験
(2)提出書類の審査
(3)面接による審査

◆合格発表/2019年1月25日(金)

◆願書請求/本校受付で配布。郵送希望の場合、事務室にご請求ください。

幼稚園

〒732-0063 広島市東区牛田東四丁目13-1
電話:082-228-6635 FAX:082-224-3141

◆募集人員/3歳児 65名
4歳児 若干名

◆願書受付/2018年10月2日(火) 本年度は終了しました。

◆入園面接/2018年10月17日(水) 本年度は終了しました。

◆入園手続/2018年10月22日(月)

